

第2回岡山オルガノン 連携評価委員会

(1) 連携取組事業説明

- 事業概要について
- 面接調査について
- 連携取組事業評価について

1

事業概要について(P29)

- 平成21年度大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラムの選定事業「『岡山オルガノン』の構築
—学士力・社会人基礎力・地域発信力の融合を目指した教育—」
- 3年間実績を積んできた大学コンソーシアム岡山の連携および事業活動の強化
- 岡山県下の各大学が個別に実施している優れた取組を、互いに連携することで各取組を発展・充実させ、地域活性化の担い手となる人材育成に資する総合的教育充実事業
- 本事業の目標：
学士力、社会人基礎力、地域発信力の向上を図る
これらを融合させることで地域創生型の人材を育成する
- 具体的課題
e-Learning方式による教育共有の実現
FD・SD活動の共同実施
キャリア形成教育の共同実施と教育指導者の育成
地域創生・環境教育に関わる教養教育の創出
地域経済界との連携による人材育成教育 など

**全大学が特色を生かしつつ、積極的に本事業に取り組み、
新たな地域貢献を実現させる。**

2

面接調査について(P61～P66)

平成21年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」選定取組における進捗状況に関する面接調査について

日時：平成23年2月9日 10:55～11:50

場所：メルパルク大阪

参加者：波田 学長、平田 局長代理、大崎 岡山商大副学長、
金子 課長、佐藤 コーディネータ、木村

面接者：文科省(神宮氏、山本氏、佐藤氏)

面接内容：

- 全体説明
- 平成22年度までの事業の進捗状況
- 平成23年度の実施計画案
- 平成23年度の予算計画案
- 平成24年度以降の中長期展望案
- 質疑応答(30分間)

平成22年度の事業仕分け結果(全面廃止)を受けたが、既選定事業に対する補助継続を行うための、事業実施状況の確認

3

連携取組事業評価について(P1～P9)

【評価の目的】本連携取組事業の各々の取組を年度毎に振り返り、今後の継続的事业展開だけではなく、さらに発展的な取組へとつなげ、岡山県内の大学教育・学生サービスの質的向上を図ることを目的として点検・評価を行います。

これを通して、成果や課題を連携校すべてにフィードバックし、各大学の特色を踏まえた上での大学教育充実に向けた改善を図る契機として活用します。

【実施期間】

平成23年3月14日～平成23年3月29日

【評価観点】

(1) 事業取組評価

- ①本連携取組事業の内容が目的に沿って適切な企画・実施がなされているか
- ②大学間の連携が適切に図れているか
- ③本事業のために導入した設備が目的達成のために有効に活用されているか

(2) 地域貢献評価

- ①産官民や高校との連携が適切に図れているか
- ②地域の担い手となる人材育成につながる取組となっているか

4

連携取組事業評価について(P1からP9)

【評価基準】

- 4:十分に満足できる(期待する効果が十分に見られる)
- 3:おおむね満足できる(期待する効果はあるが、未到達の部分もある)
- 2:努力を要する(期待する効果が見られない)
- 1:問題がある(期待する効果へとつながるよう計画がなされていない)

【点検項目別評価】

(1)共通計画	6 事業項目
(2)インフラ整備	2 事業項目
(3)学士力育成のための計画	4 事業項目
(4)社会人基礎力育成のための計画	3 事業項目
(5)地域発信力育成のための計画	3 事業項目

【総合評価】

【その他のコメント】

【記入書式等】

書式ファイル: 添付CD内にMS-Wordファイルとして収納
記入要領: 配布文書に記載

連携取組事業評価について(P3、P7～P9)

評価報告書の作成について

- (1) 全連携評価委員の方は評価報告書をご提出下さい。
- (2) 「本連携取組事業の目的」および「評価の目的」をご理解いただき、「評価基準・評価観点」に従い、評定およびコメントを記載して下さい。
- (3) 評定は各項目(18事業毎)に「評価基準」の4段階評価をお願いします。
- (4) コメント欄には「優れている事項」や「改善すべき事項」等をご記入下さい。
- (5) 「総合評価」もご記入下さい。
- (6) 「その他のコメント」は取組全体に関するご意見をご記入下さい。
- (7) 記載する行数や頁数は必要に応じて追加して下さい構いません。
- (8) 記入ファイルは添付のCD上のWordファイル「連携取組事業評価報告書フォーム.doc」をご利用下さい。
- (9) 提出先: 大学教育連携センターまでメール添付でお送り下さい。
- (10) 提出期限: 平成23年3月29日(火)

平成22年度連携取組内容および成果報告

—全体共通の取組およびインフラ整備計画について—
(①②③④⑤⑥⑦⑧関係)

大学教育連携センターからの報告内容

—共通計画—

- ①大学教育連携センターおよび各オフィスの運営
- ②「岡山オルガン代表者委員会」の開催
- ③中間報告書の作成
- ④大学連携シンポジウムの開催
- ⑤平成22年度「大学教育改革プログラム合同フォーラム」への参加
- ⑥「連携評価委員会」の開催、評価報告書の作成

—インフラ整備計画—

- ⑦多地点接続装置の設置調整、9月より運用開始
- ⑧追加教材コンテンツの作成、8月～9月上旬にICT活用教材作成講習会の実施

①大学教育連携センター及び各オフィスの運営 (p.11)

(1) 大学教育連携センターおよび各オフィスの役割

(2) 組織

(3) 会議開催

- 大学教育連携センター・サテライトオフィス担当者会議
- コーディネーター会議

✓(5) 補助金適正化に向けた取組

- 補助金中間監査
- 会計経理担当者会議



①大学教育連携センター及び各オフィスの運営 (p.11)

(4) 情報発信充実に向けた取組

①ホームページ(<http://okayama-organon.jp>)の充実



連携校連絡事項もすべて公開



遠隔授業時の資料配布やチャット機能

①大学教育連携センター及び各オフィスの運営 (p.11)

(4) 情報発信充実に向けた取組

✓②岡山オルガンン学生向けプロモーションビデオの制作

- テレビ会議システム配信デモ月間(12月、3月)で上映



①大学教育連携センター及び各オフィスの運営 (p.11)

(4) 情報発信充実に向けた取組

✓③メールマガジン「岡山オルガンン通信」の発行

- 第1号～第18号まで発行済 → 3月末に19号発行予定
- ホームページでメルマガ講読の一般登録受付中

✓④新聞広告掲載(2月19日山陽新聞朝刊)



②岡山オルガンン代表者委員会の開催 (p.12)

(1) 第1回岡山オルガンン代表者委員会(5月21日開催)

- 平成22年度事業計画および実施方針の策定

(2) 第2回岡山オルガンン代表者委員会(9月6日開催)

- 平成22年度事業実施における懸案事項の協議
 - ・ 将来構想に向けた検討
 - ・ 中間報告書作成の連絡 → [関連番号③\(p.13\)](#)で説明

(3) 第3回岡山オルガンン代表者委員会(2月16日開催)

- 平成22年度事業実施報告
 - ・ 行政刷新会議等政府対応の報告
- 平成23年度事業計画案の検討

③中間報告書の作成 (p.13)

(1) 制作概要

(2) 報告書内容

- 事業全体の報告(21年9月～22年9月)
 - ・ 学士力
 - ・ 社会人基礎力
 - ・ 地域発信力
- 各連携校における取組の報告

(3) 配布・広報および発行案内

- 冊子300部
- ホームページ掲載

(4) 中間報告書作成の意義



④大学連携シンポジウムの開催

(p.14)

(1)シンポジウム概要

「大学連携で地域を変える」

日時：平成22年6月12日(土)13:00～16:00 会場：岡山理科大学 理大ホール

基調講演「地域連携の継続実現に向けて」

[講師] 小嶋 光信 氏 (両備グループ)

シンポジウム「地域が求める大学へ」

[ファシリテーター]

小山 悦司 氏 (倉敷芸術科学大学)

[パネリスト]

小嶋 光信 氏 (両備グループ)

笹野 寛 氏 (岡山県新庄村)

森 泰三 氏 (岡山県立岡山一宮高等学校)

✓ 森山 梨花 氏 (岡山大学経済学部学生)

岡山オルガノンの活動紹介

[説明] 木村 宏 氏 (大学教育連携センター)



④大学連携シンポジウムの開催

(p.14)

(2)広報活動

- 連携校および関係機関
- 地元町内会
- 「岡山県生涯学習大学連携講座」として登録

(3)実施結果



参加者数	
教員	46名
職員	66名
学生	48名
一般	20名
合計	180名

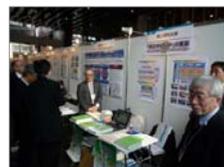
⑤平成22年度「大学教育改革プログラム合同フォーラム」への参加

(p.15)

(1)平成22年度フォーラム概要

✓(2)ポスター展示会への出展

- 資料はホームページに掲載

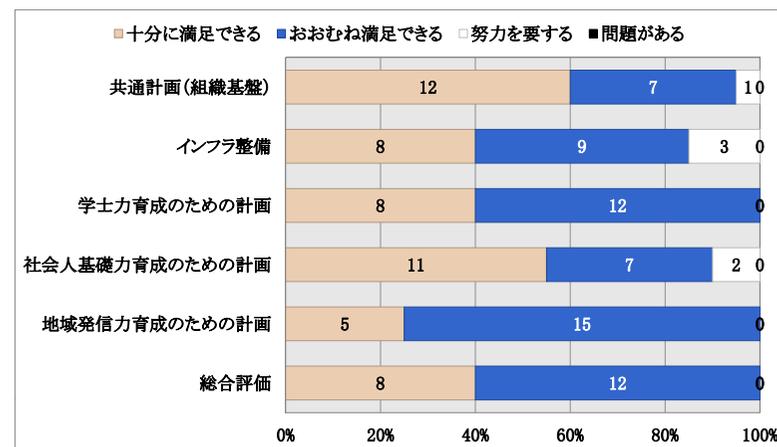


(3)フォーラム参加の意義

⑥「連携評価委員会」の開催、評価報告書の作成

(p.16)

(1)平成21年度評価報告書



⑥「連携評価委員会」の開催、評価報告書の作成 (p.16)

(1) 平成21年度評価報告書

- ✓ - 平成22年度補助事業実施方針 (p.82)
 - ① センターおよび各オフィスの役割分担の明確化
 - ② 年間活動計画、イベントの分散化、早期検討 → pp. 41-44 参照
 - ③ 補助金の適正使用を確認
 - ④ ホームページを活用した情報公開・情報発信の充実化
 - ⑤ 学生に対する周知徹底および呼びかけ
 - ⑥ 地域に対する広報宣伝活動の連携校協力体制強化
 - ⑦ 連携校独自のイベントや取組の共同開催の推進
 - ⑧ 連携校教職員の本連携取組に対する連携・協働意識の向上
 - ⑨ VCSやLMSの有効活用に向けた各大学での検討
 - ⑩ 連携校間の連絡調整時の二重確認

⑥「連携評価委員会」の開催、評価報告書の作成 (p.16)

(2) 連携評価委員会の選任

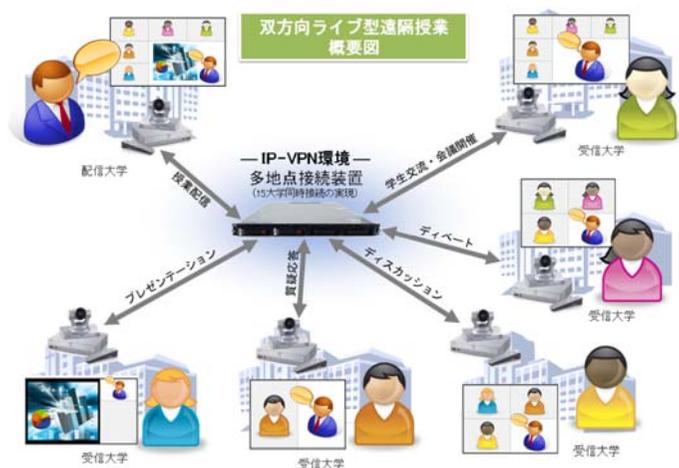
- 構成
 - ・ 産学官の有識者
 - ・ 連携校学長
- ✓ - 進捗状況の把握
 - ・ メールマガジン「岡山オルガノン通信」の講読
 - ・ 中間報告書による経緯確認

(3) 第2回連携評価委員会 (3月14日開催)

- プレゼンテーション形式による成果報告

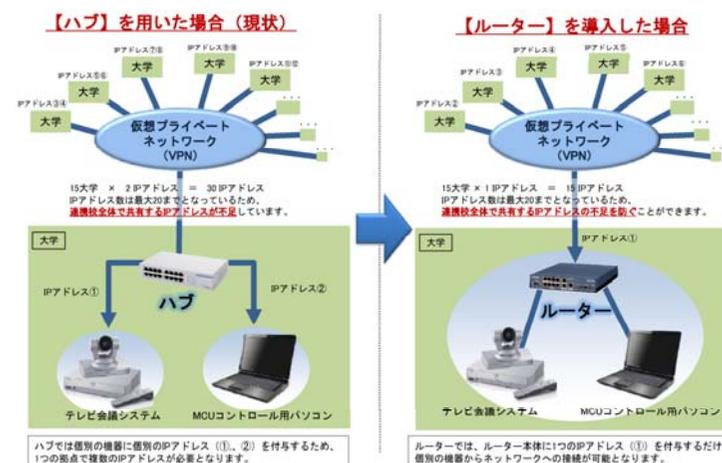
⑦多地点接続装置の設置調整、9月より運用開始 (p.17)

✓ (1) 多地点接続用サーバー



⑦多地点接続装置の設置調整、9月より運用開始 (p.17)

✓ (2) ギガビットVPNルーター



(1)VODコンテンツ制作

- VODコンテンツの撮影・編集
 - 平成22年度【後期】提供科目



VOD撮影風景



教員側から見た風景

(1)VODコンテンツ制作

- VODコンテンツの撮影・編集
 - 平成23年度【前期・後期】提供科目

前期科目一覧(6科目)

大学名	科目名
岡山県立大学	解析学 I
岡山理科大学	環境と社会 インターネット入門 アルゴリズム入門
くらしき作陽大学	音楽療法概論 食心理学

後期科目一覧(11科目)

大学名	科目名
岡山商科大学	パーソナル ファイナンス: 金融資産運用・不動産 I
岡山理科大学	環境と社会 インターネット入門 アルゴリズム入門 環境考古学
川崎医療福祉大学	睡眠学
吉備国際大学	スポーツ産業論
山陽学園大学	現代中国論
就実大学	日本人の思想 日本美術史b
中国学園大学	運動生理学

(1)VODコンテンツ制作

- ✓ - 平成22年度後期提供VOD科目

大学名	科目名	受講者数
岡山理科大学	アルゴリズム入門	8名
川崎医療福祉大学	睡眠学	117名
吉備国際大学	スポーツ産業論	52名
合計	3科目	177名

- 平成24年度VOD科目提供について連携校に現在調査中

(2)学習管理システム管理・運用

- 学習管理システム「まなびオルガノン」
(<https://manabi-organon.jp>)



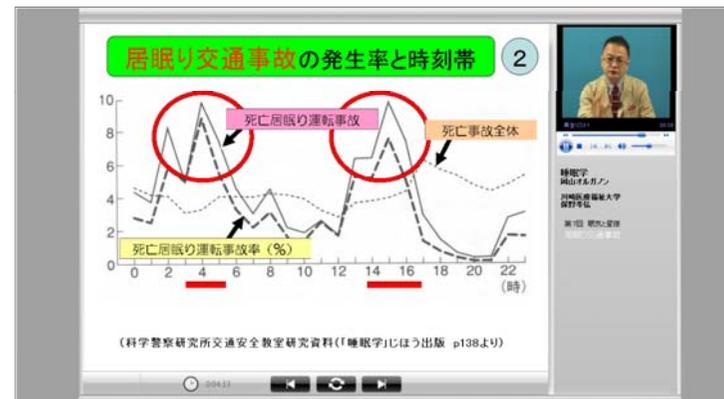
(2)学習管理システム管理・運用

- 受講生用=学生用



(2)学習管理システム管理・運用

- 受講生用=学生用



(2)学習管理システム管理・運用

- 講師用=教員用



(2)学習管理システム管理・運用

- 組織管理者用=教務担当者向け



(2) 学習管理システム管理・運用

✓ - 大学設置基準における授業要件について

学習管理システムの機能	面接授業での指導
授業動画コンテンツの配信機能	授業受講
アンケート集計機能	設問解答
提出物管理機能	添削指導
掲示板機能	質疑応答
チャット機能	学生等の意見交換の機会



本要件を満たし、面接授業に相当すると考えられる。

(3) ICT活用教材作成講習会(9月1日開催)

e-Learning著作権セミナー～e-Learningにおける著作権の取り扱いについて～

講師:尾崎 史郎 氏 (放送大学ICT活用・遠隔教育センター教授)

- VODコンテンツの取り扱い
- 多地点接続装置を使用したライブ配信

参加者数		
連携校	教員	72名
	職員	57名
他大学	教職員	2名
合計		131名



ご清聴、ありがとうございました。

続いては

「学士力育成のための取組について」

報告を行います



学士力育成のための取組

内容と成果報告(⑨-⑫関連)

岡山オルガノン 岡山大学オフィス

学士力育成のための取組

岡山大学オフィスからの報告

1. 配信科目の内容の検討・協議・決定 ...⑨

2. 「FD・SDシンポジウム」と「桃太郎フォーラム」...⑩

3. 共同SD研修会 ...⑪

4. i*See2010 ...⑫

岡山大学オフィス 1

学士力育成のための取組

1. 配信科目の内容の検討・協議・決定 ...⑨

● 学士課程教育連携委員会の開催

- 共通の授業時間「オルガノン時間」
- 2011年度募集要項

● 今年度の配信科目

- ライブ科目 ... 5科目
- VOD科目 ... 3科目



岡山大学オフィス 2

学士力育成のための取組

2011年度 ライブ配信科目

岡山大学	大学と社会
岡山県立大学	音楽の鑑賞
岡山商科大学	経営学特殊講義Ⅰ(岡山経営学)
	経営学特殊講義Ⅱ(岡山経営学)
岡山理科大学	岡山学
川崎医科大学	個人・社会と医療考
川崎医療福祉大学	哲学
環太平洋大学	スポーツ栄養学
倉敷芸術科学大学	倉敷まちづくり基礎論
	倉敷まちづくり実践論
	まちづくりインターンシップ
くらしき作陽大学	特別支援教育総論
山陽学園大学	宗教思想
中国学園大学	現代子ども学入門

岡山大学オフィス 3

岡山県立大学	解析学 I
岡山商科大学	パーソナルファイナンス: 金融資産運用・不動産 I
岡山理科大学	環境と社会
	インターネット入門
	アルゴリズム入門
	環境考古学
川崎医療福祉大学	睡眠学
吉備国際大学	スポーツ産業論
くらしき作陽大学	音楽療法概論
	食心理学
山陽学園大学	現代中国論
就実大学	日本人の思想
	日本美術史b
中国学園大学	運動生理学

- 共同FD・SD委員会の開催
 - 共同FD・SD活動について検討
- 「第2回FD・SDシンポジウム」開催
- 「桃太郎フォーラム XIII」共催

「学生と社会をつなぐ大学教育の質保証」

2011年1月9日(日)

基調講演 「シューカツを考える 職業教育義務化の中で」

東京大学 教授 本田 由紀 氏

対抗報告 「岡山大学のキャリア支援」

岡山大学 教授 三浦 孝仁 氏

パネルディスカッション

ファシリテーター 橋本 勝(岡山大学)

1. 藤木 茂彦 氏(株式会社丸五代表取締役常務)
2. 高木 二三男 氏(財団法人岡山県産業振興財団)
3. 本田 由紀 氏(東京大学教授)
4. 坂入 信也 氏(岡山大学キャリア開発センター教授)
5. 石渡 嶺司 氏(ジャーナリスト)

→ 全国から158名の参加者



分科会「授業公開の現状と課題
～岡山オルガノン連携校における取り組みから」

2010年9月10日

薬学部におけるピアレビューの現状と課題

中尾 浩史 (岡山大学)

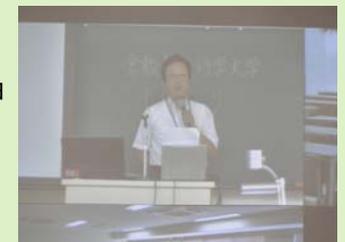
テレビ会議システムを利用した授業公開

一倉敷まちづくり科目の紹介

小山 悦司 (倉敷芸術科学大学)

PowerPoint, LMSサイトを利用した授業の試み

滝澤昇 (岡山理科大学)



3. 共同SD研修会 ...⑪

- 2010年度 ...2010年8月24日、吉備創生カレッジさん太キャンパス

- 「大学職員のための実践メンタルヘルス講座」

講師: 岡山大学保健管理センター 大西勝 教授・清水幸登 准教授



岡山大学オフィス 8

3. 共同SD研修会 ...⑪

- 2011年度 ...2011年8月29日、岡山大学(予定)

- 「クレイマー対応」

講師: 岡山大学法務研究科 吉野夏己 教授・吉沢徹 准教授

「モンスター・ペアレント」を始めとする苦情対応。

現場での対応、法的手段、事後処理など。

岡山大学オフィス 9

4. i*See2010 ...⑫

- 岡山大学の学生参画型FD研修事業
- 2010年9月4-5日、岡山大学

- 「大学生活をより充実したものへ、より有意義なものへ」

全国29大学から102名
学生・教員・職員が参加。



岡山大学オフィス 10

4. i*See2010 ...⑫

- 1日目: フリーディスカッション～授業に期待, してますか?～
 - アイスブレイク
 - フリーディスカッション
- 2日目: グループ議論～大学で身につけたい能力～



岡山大学オフィス 11

1. 配信科目の内容の検討・協議・決定 ...⑨

2. 「FD・SDシンポジウム」と「桃太郎フォーラム」...⑩

3. 共同SD研修会 ...⑪

4. i*See2010 ...⑫

ひきつづき
「社会人基礎力育成のための取組」についての
報告です

2011/3/14

社会人基礎力養成

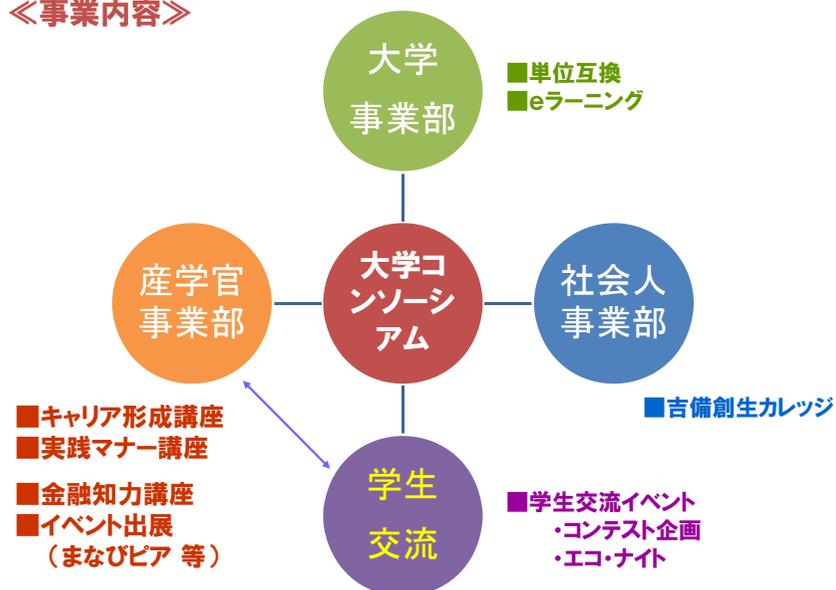
中国学園大学オフィス
飯田 哲司

「社会人基礎力」

*経済産業省が定義

- 1) 前に踏み出す力 (アクション)
- 2) 考え抜く力 (シンキング)
- 3) チームで働く力 (チームワーク)

《事業内容》



●産学官連携事業部

『キャリア形成講座』



『実践マナー & ビジネスマインド講座』

岡山県内の大学へ進むと、他大学の特色ある科目も無料で受講できるをご存じですか？ 2006年4月に発足した産学官連携組織「大学コンソーシアム岡山」は、県内すべての4年制16大学と岡山経済同友会、岡山県が正会員、4短大・1高专が特別会員として加盟し、単位互換制度などで学生の学びを強力にサポートしています。教育・研究力と地域力の一層の向上を目指す「大学コンソーシアム岡山」の取り組みをご紹介します。

産学官連携組織「大学コンソーシアム岡山」



16大学が約250科目を提供
— 単位互換制度
 大学教育事業部
 産学官連携組織「大学コンソーシアム岡山」は、県内すべての4年制16大学と岡山経済同友会、岡山県が正会員、4短大・1高专が特別会員として加盟し、単位互換制度などで学生の学びを強力にサポートしています。教育・研究力と地域力の一層の向上を目指す「大学コンソーシアム岡山」の取り組みをご紹介します。

「オール岡山」で学

2009年7月19日 山陽新聞 朝刊

県内16大学の特色ある科目も無料で受講できるをご存じですか？ 2006年4月に発足した産学官連携組織「大学コンソーシアム岡山」は、県内すべての4年制16大学と岡山経済同友会、岡山県が正会員、4短大・1高专が特別会員として加盟し、単位互換制度などで学生の学びを強力にサポートしています。教育・研究力と地域力の一層の向上を目指す「大学コンソーシアム岡山」の取り組みをご紹介します。

産学官連携組織「大学コンソーシアム岡山」



16大学が約250科目を提供
— 単位互換制度
 産学官連携組織「大学コンソーシアム岡山」は、県内すべての4年制16大学と岡山経済同友会、岡山県が正会員、4短大・1高专が特別会員として加盟し、単位互換制度などで学生の学びを強力にサポートしています。教育・研究力と地域力の一層の向上を目指す「大学コンソーシアム岡山」の取り組みをご紹介します。

◆15回の正規講義
 ⇒ 2単位付与

◆2006年の前期より開講
 ⇒ 13クラス実施
 計343名が受講
 (*リピーターも多数あり)

■開講日：(前期・後期とも)
 毎週 木曜日 15:30~17:00

■場所：岡山市デジタルミュージアム 講義室

■講座の特徴 ①

「体験型(参画型)講義」

「実践的トレーニングワーク」

*企業内研修の内容を導入



入社後から定年まで 活かせる キャリア教育



■講座の特徴 ②

前半で、
「コミュニケーション力」「自己分析」
「他者理解」「キャリア形成論」を 実践的に学び、



後半の「課題解決グループ企画会議」と
「プレゼン大会」で、
チーム一丸となつての真剣勝負を展開！！

【講座のテーマ・合言葉】

- 「わかる」と「できる」はちがう
- 「保留」しないで「行動」しよう！
- 考えることを人に任せるな！
- ひとつの頭で考えない
- 自己実現と他者実現

徹底した「体験学習」と「実践的なトレーニング」



企業出身で、採用・社内研修の経験を有する講師が担当
（「企業研修」や「プロ養成セミナー」も多数担当）

⇒ 時代に合った実践型トレーニングメニューを作成

【講座の特徴③】

- **リピーターが多数**
- **県外の大学生も参加を希望**
- **社会人・業者・高校教員も参加を希望**
- **学生評価は「4.5～5点」**
- **修了後も同期会・同窓会が継続**

【講座の特徴④】

**課題解決ワーク
(チーム力強化)**



「プレゼンテーション大会」



**クオリティの高い「プレゼンテーション」
は、企業の若手社員も圧倒！**



**プロもうなるほどの資料
ビデオレターも巧みに導入**



競い合う体験



失敗と修整 ⇒ アウトプットへの執念



審査と振り返り

■課題解決 グループワーク



打ち上げ・感謝会 「同期会」の発足



地域のイベントに参加 （「まなびピア」に出展）





社会人基礎力の養成



社会人基礎力の養成

《計画》

☆学生からの要望

- ① 合宿セミナー（社会人との交流付き）
- ② 短期集中講座〈2日間または3日間〉



社会人基礎力の養成

《計画》

- ① 合宿~~セ~~ミナー（社会人との交流付き）
- ② 短期~~集~~中講座〈2日間または3日間〉

【取組内容と実績】

⑬ 実践的キャリア指導チームの形成



連携校でのキャリア教育の
検討・協議・試行実施

【キーワード】

■ 「質の高さ」の追求と実現

■ 「教育の充実」の追求と実現

■ プロ講師チームの形成

《3つの経験》

1. 職務の経験 (企業・組織での業務経験)
2. 人材育成・採用・人事の経験 (採用される側、採用する側)
3. プロ講師の経験

《3つのスキル》

1. 教える力 (惹きつける力)
2. 教材・資料を作成する力
3. 探求する力 (研究・自己研鑽・人脈 ほか)

■ 今年度 あらたに作成したテーマ・講義プログラム

- ・「チーム力アップ演習Ⅱ」
- ・「モチベーションアップ」
- ・「コミュニケーション力強化Ⅲ」
- ・「ビジネスマインドⅢ」
- ・「発想力強化Ⅱ」
- ・「プレゼン力強化Ⅱ」
- ・「行動経済学」
- ・「NLP(神経言語プログラム)」

など全11種

飯田 哲司	中国短期大学 教授、コンソーシアム「キャリア形成講座」講師 元 生命保険会社 管理職、元 教育出版社 管理職・講師
桑田 朋美	社会保険労務士、コンソーシアム「キャリア形成講座」講師 元 メーカー人事部、香川大 非常勤講師、企業研修講師
侍留 慶子	社会保険労務士、LEC大学 講師 元 医療機関勤務、企業研修講師
松田 周司	中小企業診断士、経営コンサルタント 元 百貨店勤務、企業研修講師
上村 明子	社会保険労務士、フリーアナウンサー、アナウンススクール講師 元 民放局アナウンサー、企業研修講師

■ 新プログラムの実践

実際の講義・講演で実践

- 大学 (連携校 + 県外大学)
- 高校 (県立高校 + 教員研修)
- 社会人セミナー (自治体 ほか)



大学での各種講義

(5大学で 26講義)



「短期集中講座」
(2日間)も実施



高校での各種講義 (5校で 22講義)

+ 高校教諭研修も実施

※高校生への講義は、講師力アップにつながる



■ 来年度の依頼 (3月時点)

大学 : 15回講義の正規講座 ⇒ 2講座
単発講義 ⇒ 約20講義

高校 : 4校から依頼 ⇒ 計18講義

※「質の高い授業プラン」の構築のため、
来年度も高大連携の講義も積極的に受ける



あくまでも連携校からの
依頼が第一！！

【取組内容と実績】

⑭ 「社会人基礎力養成」に関する ワークショップの開催

- ◆ 「学生へのヒヤリング・意見交換会」
- ◆ 「社会人へのヒヤリング・意見交換会」

学生へのヒヤリング 意見交換会 （年間12回実施）



「キャリア形成講座」の修了生へのヒヤリング 社会人との意見交換会 （+高校の先生方） （年間18回実施）



学生(受講生 & 修了生)および社会人へのヒヤリングと意見交換会での
「内容」「要望」「提案」等を元に、
キャリア教育実施担当者とのワークショップを開催する

*このワークショップに参加したい学生も交えての開催を企画予定

【取組内容と実績】

⑮ 大学コンソーシアム岡山との連携 実践的・体験型プログラムの実施

- ◆ 「実践マナー & ビジネスマインド講座」
- ◆ 「社会人基礎力養成シンポジウム」

実践マナー & ビジネスマインド講座



2010年12月4日(土)
12:30~17:00
於) 岡山大学

大学
コンソーシアム
岡山

大学コンソーシアム岡山・岡山オルガノン 共催

Organon

実践マナー & ビジネスマインド講座

■日時：2010年12月4日(土) 12:30~17:00
■場所：岡山大学 一般教育棟D棟 2階 D23講義室
■対象：岡山県内の大学・短大の学生 (学年不問)

【第1部】「実践マナー講座」	12:30~13:50
講師) 桑田 朋美 社会福祉学修士 大学コンソーシアム岡山「キャリア形成講座」講師	
【第2部】「ビジネスマインド講座」	14:00~15:20
講師) 飯田 哲司 中国学園大学 地域連携センター長 大学コンソーシアム岡山「キャリア形成講座」講師	
【第3部】「自己表現力アップ講座」	15:40~17:00
講師) 上村 明子 社会福祉学修士 アナウンススクール講師 (元KBS岡山アナウンサー)	

◆大学コンソーシアム岡山「キャリア形成講座」の継続的
内容を、<短期集中講座>で実施!

実践的な能力アップを図りたい学生に最適です。
企業内研修の内容・ワークも盛り込み
提供します。

キャリア形成講座の修了生も、現受講生も、
初めての方も、ふるって参加ください!

(受講無料・申し込み不要)

■提供：岡山オルガノン 中国学園大学オフィス
社会人基礎力養成講師チーム

【提供】
中国学園大学オフィス
社会人基礎力 講師チーム



【第1部】
「実践マナー講座」 (桑田朋美 先生)

<32名受講> *8大学から



【第2部】
「ビジネスマインド講座」 (飯田哲司 先生)

<36名受講> *8大学から



【第3部】
「伝達力・質問力アップ講座」 (上村明子 先生)

<24名受講> *8大学から

2010年12月25日(土) 13:00~16:30
於) 中国学園大学



147名参加 (学生 115名) *7大学から
(学生以外 32名)

【第1部】

**「先手必勝！
同期から一步先じる新入社員になる方法
～現場で活かせ！社会人基礎力～」**



**<講師> 松下 直子氏
(株式会社 オフィスあん 代表)**



【第2部】

後輩たちに贈る 現場からの熱い言葉！



先輩：「キャリア形成講座」修了生4名



**ビザビレレーションズ
杉本健太
(岡山大OB)**



**ナカシマメディカル
吉柳芽依
(岡山大OB)**



**山陽新聞社
仁井名小百合
(清心大OB)**



**シンセリティー
渡邊雅斗
(岡山大OB)**



**【コーディネーター】
飯田哲司教授**



⑬ 実践的キャリア指導チームによる講義実践

⑭ 「社会人基礎力養成」に関する
ワークショップの開催

⑮ 大学コンソーシアム岡山との連携による
実践的・体験型プログラムの実施

《社会人基礎力》

①「前に踏み出す力」



②「考え抜く力」



③「チームで働く力」





地域発信力育成のための取組について

—地域発信力育成のための計画—

- ⑩ ライブ型方式による遠隔授業の配信
- ⑪ エコナイトの開催
- ⑫ 地域活性化シンポジウムの開催

岡山商科大学オフィス 室長 大崎 紘一

16

—地域発信力育成のための計画—

ライブ型方式による遠隔授業の配信 双方向コンテンツ委員会

⑩ ライブ型方式による遠隔授業の配信

第2回連携評価委員会 <関連番号資料>		
—地域発信力育成のための計画—		
⑩ ライブ型方式による遠隔授業の配信		
■取組の内容および実績 / 具体的な成果と今後の課題 (文責：岡山商科大学オフィス)		
(1) 主な取り組みの内容		
ライブ型遠隔授業の科目提供と円滑な配信・運用を実施するために、双方向コンテンツ委員会を開催した。各大学に設置されたテレビ会議システムの操作を支援し、授業中のトラブル時に備えた連絡手段の検討等、次年度のライブ科目の新設と継続を図るために、さらなる活発な遠隔授業の展開に向けた検討を実施することができた。		
No	項目	内容
1	平成22年度 前期・後期開講科目の配信 配信デモによる配信テストと受信テストの実施(計3回)	開講科目：前期2科目、後期3科目(写真(2)①) ①授業の配信 ②授業の配信、機器操作の練習、岡山オルガノン・大学紹介ビデオの再生 ③授業の配信および多地点接続装置を使用した操作
2	①H22.06.04~H22.06.28 ②H22.12.01~H22.12.22 ③H23.03.01~H22.03.25	
3	テレビ会議システム 基本操作マニュアルの配布 (配布日：H22.09.06)	授業でテレビ会議システムを使用するための一連の操作手順書を作成し、連携校に配布
4	講義レポート提出システムの構築と運用の提案	学生が e-LearningPC を使用して、授業中に講義レポートをウェブ上で提出するためのサイトの構築と活用方法を双方向コンテンツ委員会から提案(写真(2)②)
5	後期開講科目案内ポスターの配布 (配布日：H22.06.04)	後期3科目の案内ポスターを作成し、連携校に電子データを送信
6	ライブ型遠隔授業に関するアンケート調査の実施 (実施日：H22.09.30)	連携校教職員を対象としたアンケート調査内容：認知度、周知、教育効果と対策、講義方法・担当者区分、提供科目の種類等の調査
7	遠隔授業実施の県外大学・団体へ視察訪問 ①H22.01.27 立命館大学(前年度視察) ②H22.02.01 大学コンソーシアム福岡(前年度視察) ③H23.02.18 高等教育コンソーシアム信州	テレビ会議システムを使用して授業を配信する教室の機器環境の施設視察、運営方法、質疑応答、意見交換を行った。
8	双方向コンテンツ委員会の開催(計3回) ①H22.06.04(カスケード接続配信：6大学) ②H22.10.05(ライブ配信：5大学) ③H22.12.22(多地点接続装置配信：7大学)	①配信機器の活用、講義の実施・運用方法 ②提供科目と問題点、シンポジウム開催 ③提供科目、他大学の事例、システムの問題点、多地点接続装置の実運用
9	他団体主催「第3回FDフォーラム」に参加 (実施日：H23.01.22)	高等教育コンソーシアム信州とテレビ会議システムを接続して、サテライト会場として参加

⑩ ライブ型方式による遠隔授業の配信

(2) ライブ型遠隔授業実施の様子

受講者数は全体で、前期 205 名(他大学 4 名)、後期 239 名(他大学 16 名)であった。他大学の学生と同じ授業を共有することができ、地元経済・社会への理解を深めることにつながり、また刺激ある新しい遠隔授業スタイルを築くことができた。



①他大学に双方向ライブ型遠隔講義を配信、分割画面に切り替えて、講師と学生が質疑応答を行う。



②授業中、e-LearningPC を使って学生がウェブ上で講義レポートを入力し、提出する。

双方向コンテンツ委員会

委員会の様子

① 第1回

「配信機器の活用、講義の実施・運用方法」
H22. 06. 04開催 カスケード接続配信：6大学



② 第2回

「提供科目と問題点、シンポジウム開催」
H22. 10. 05開催 ライブ配信：5大学



③ 第3回

「提供科目、他大学の事例、システムの問題点、
多地点接続装置の実習」
H22. 12. 22開催 多地点接続装置配信：7大学

連携校のテレビ会議システム設置教室

岡山大学 (D12)



岡山大学 (オフィス)



岡山県立大学



岡山学院大学



岡山商科大学 (772教室)



岡山理科大学



連携校のテレビ会議システム設置教室

川崎医科大学



川崎医療福祉大学



環太平洋大学



吉備国際大学



倉敷芸術科学大学



連携校のテレビ会議システム設置教室

くらしき作陽大学



山陽学園大学



就実大学



中国学園大学



ノートルダム清心女子大学



⑩ ライブ型方式による遠隔授業の配信

- 岡山商科大学オフィス -

テレビ会議システム 基本操作マニュアルの配布

テレビ会議システム操作説明書



MCU接続方式 テレビ会議システム操作説明書



⑩ ライブ型方式による遠隔授業の配信

- 岡山商科大学オフィス -

平成22年度 遠隔講義 開講科目および実績

双方向ライブ型遠隔科目：3大学 5科目(前期・後期)

前期 2科目

大学名	授業科目	区分	曜日・開講時間	受入学生数	学生数合計
岡山商科大学	経営学特殊講義Ⅰ(岡山経営学)	専門	月 14:40-16:10	3 (+175)	4 (+201)
川崎医科大学	基礎環境医学(リベラルアーツ選択Ⅱ)	教養	金 09:00-10:30	1 (+26)	

後期 3科目

大学名	授業科目	区分	曜日・開講時間	受入学生数	学生数合計
岡山商科大学	経営学特殊講義Ⅱ(岡山経営学)	専門	月 14:40-16:10	5 (+197)	16 (+223)
倉敷芸術科学大学	倉敷まちづくり基礎論	教養	土 13:10-18:10	4 (+13)	
	倉敷まちづくり実践論	教養	土 13:10-18:10	7 (+13)	

VOD型e-Learning科目：3大学 3科目(後期)

後期 3科目

大学名	授業科目	区分	受入学生数	学生数合計
岡山理科大学	アルゴリズム入門	専門	8	178
川崎医療福祉大学	睡眠学	教養	117	
吉備国際大学	スポーツ産業論	専門	53	

⑩ ライブ型方式による遠隔授業の配信

- 岡山商科大学オフィス -

配信デモの実施(計3回)

第1回 H22.06.04-06.28

第2回 H22.12.01-12.22

第3回 H23.03.01-03.25(多地点接続方式)

実施スケジュール

期	月	火	水	木	金
前期			吉備国際大学9:30-11:00(1)	中国学園大学10:00-10:30(1)	吉備国際大学9:30-11:00(2)
			岡山商科大学9:30-10:40 /16.5人専心女子大学9:00-12:15 岡山商科大学9:30-10:30	岡山商科大学9:40-10:30 岡山商科大学9:30-10:40 /GLL者専大9:30-11:00 /16.5人専心女子大学9:00-10:30	岡山商科大学9:30-10:40 /16.5人専心女子大学9:30-12:50 中国学園大学9:30-10:30 岡山商科大学9:30-10:40
			山崎学園大学13:00-14:30(1)	中国学園大学11:30-12:00(2)	岡山商科大学11:50-12:40
中期			岡山商科大学12:40-14:30 岡山商科大学12:50-14:40 /16.5人専心女子大学12:55-14:25 /GLL者専大12:25-14:50	岡山商科大学11:30-12:40 岡山商科大学12:50-12:55 /GLL者専大11:30-12:40 /16.5人専心女子大学10:45-12:15 中国学園大学11:50-15:00	岡山商科大学10:55-13:10 中国学園大学11:00-13:10 岡山商科大学12:30-13:00 岡山商科大学12:40-12:50 中国学園大学12:00-13:10 /16.5人専心女子大学16:25-17:55(1)
			岡山商科大学14:30-17:40(1)	中国学園大学11:50-15:00	岡山商科大学14:20-15:50 岡山商科大学15:00-16:00 吉備国際大学15:10-18:20 /16.5人専心女子大学14:40-17:50 岡山商科大学14:40-18:10
			岡山商科大学14:30-17:40(1)	中国学園大学11:50-15:00	岡山商科大学14:20-15:50 岡山商科大学15:00-16:00 吉備国際大学15:10-18:20 /16.5人専心女子大学14:40-17:50 岡山商科大学14:40-18:10
後期			岡山商科大学11:15-12:45(1)	吉備国際大学9:30-11:00(3)	中国学園大学10:00-10:30(4)
			岡山商科大学9:30-12:45 岡山商科大学9:30-10:30 岡山商科大学11:15-12:45 岡山商科大学10:40-12:10	岡山商科大学9:30-10:40 /16.5人専心女子大学9:00-12:15 岡山商科大学9:30-10:30 岡山商科大学11:15-12:45 岡山商科大学10:40-12:10	岡山商科大学9:40-12:40 岡山商科大学9:30-10:40 /GLL者専大9:30-11:00 /16.5人専心女子大学9:30-10:30
			岡山商科大学10:40-18:00(1)	山崎学園大学13:00-14:30(2)	中国学園大学11:30-12:00(6)
前期			岡山商科大学10:20-14:40 /16.5人専心女子大学10:40-14:25 岡山商科大学10:55-12:25 岡山商科大学10:50-12:20 岡山商科大学12:20-12:50 岡山商科大学14:40-18:10(1)	岡山商科大学12:40-14:30 岡山商科大学12:50-13:20 /GLL者専大12:55-14:25 /16.5人専心女子大学12:55-14:25	岡山商科大学11:50-12:40 岡山商科大学10:55-12:25 岡山商科大学11:30-12:40 /16.5人専心女子大学10:45-12:15 中国学園大学11:50-15:00
			岡山商科大学14:40-18:10(1)	岡山商科大学14:45-18:10(1)	岡山商科大学14:30-17:50(2)
			岡山商科大学14:40-18:10(1)	岡山商科大学14:45-18:10(1)	岡山商科大学14:30-17:50(2)
中期			岡山商科大学14:30-18:10(1)	岡山商科大学14:30-18:10(1)	岡山商科大学14:30-17:50(2)
			岡山商科大学14:30-18:10(1)	岡山商科大学14:30-18:10(1)	岡山商科大学14:30-17:50(2)
			岡山商科大学14:30-18:10(1)	岡山商科大学14:30-18:10(1)	岡山商科大学14:30-17:50(2)
後期			岡山商科大学14:30-18:10(1)	岡山商科大学14:30-18:10(1)	岡山商科大学14:30-17:50(2)
			岡山商科大学14:30-18:10(1)	岡山商科大学14:30-18:10(1)	岡山商科大学14:30-17:50(2)
			岡山商科大学14:30-18:10(1)	岡山商科大学14:30-18:10(1)	岡山商科大学14:30-17:50(2)

⑩ ライブ型方式による遠隔授業の配信

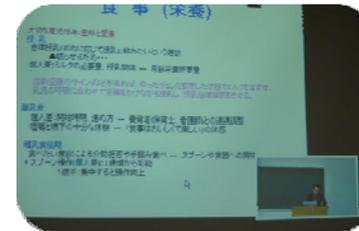
- 岡山商科大学オフィス -

配信デモ実施の様子

岡山商科大学「経営学特殊講義Ⅱ」



中国学園大学「保育者論」



環太平洋大学「身近なものを使った実験教材づくり」



他団体主催「第3回FDフォーラム」に参加

「高等教育コンソーシアム信州」チラシ テレビ会議システムで参加する様子



平成23年度 遠隔講義 開講科目

双方向ライブ型遠隔科目：13大学 14科目(前期・後期)

前期 7科目

大学名	授業科目	区分	曜日・開講時間	配当学年
岡山大学	大学と社会	教養	金 12:45-14:15	1-4
岡山商科大学	経営学特殊講義I(岡山経営学)	教養	月 14:40-16:10	2-4
川崎医科大学	個人・社会と医療考	教養	金 09:00-10:30	2-4
川崎医療福祉大学	哲学	教養	月 08:40-10:10	1-4
倉敷芸術科学大学	倉敷まちづくり基礎論	教養	土 13:10-18:10	1-4
	まちづくりインターンシップ	教養	シラバスに記載	2-4
くらしき作陽大学	特別支援教育総論	専門	水 16:50-18:20	1-4

後期 7科目

大学名	授業科目	区分	曜日・開講時間	配当学年
岡山県立大学	音楽の鑑賞	専門	水 08:40-10:10	1-4
岡山商科大学	経営学特殊講義II(岡山経営学)	教養	月 14:40-16:10	2-4
岡山理科大学	岡山市学	教養	月 16:50-18:20	1-4
倉敷芸術科学大学	倉敷まちづくり実践論	教養	土 13:10-18:10	1-4
環太平洋大学	スポーツ栄養学	専門	火 10:35-12:05	2-4
山陽学園大学	宗教思想	専門	木 16:30-18:00	3-4
中国学園大学	現代子ども学入門	専門	水 13:10-14:40	1-4

平成23年度 遠隔講義 開講科目

VOD型e-Learning科目：10大学 17科目(前期・後期)

前期 6科目

大学名	授業科目	区分
岡山県立大学	解析学I	教養
	環境と社会	教養
岡山理科大学	インターネット入門	専門
	アルゴリズム入門	専門
くらしき作陽大学	音楽療法概論	専門
	食心理学	専門

後期 11科目

大学名	授業科目	区分
岡山商科大学	パーソナルファイナンス：金融資産運用・不動産I	専門
	環境と社会	教養
岡山理科大学	インターネット入門	専門
	アルゴリズム入門	専門
	環境考古学	専門
川崎医療福祉大学	睡眠学	教養
吉備国際大学	スポーツ産業論	専門
倉敷芸術科学大学	西洋美術史II	専門
山陽学園大学	現代中国論	専門
就実大学	日本人の思想	教養
	日本美術史b	教養

地域活性化委員会

議題

- ⑭エコナイトの実施
- ⑮地域活性化シンポジウムの実施

テレビ会議システムを利用した会議の様子



17

一地域発信力育成のための計画ー エコナイトの開催

17 エコナイトの開催

第2回連携評価委員会 <関連番号資料>
一地域発信力育成のための計画ー

17 エコナイトの開催

■取組の内容および実績 / 具体的な成果と今後の課題 (文責：岡山商科大学オフィス)

主な取り組みの内容
連携校が足並みをそろえて環境教育の実践的活動を実施することを目的とし、学内消灯や自動車通道の自粛、その他各大学でイベント行い、意義ある活動を行うことができた。広報用チラシを作成し、一般市民、後援団体、連携校に配布した。

(1) 主な取り組みの内容

No	項目	内容
1	ベガサスキャンドル(株)訪問見学 (実施日: H22.06.23) (写真 (2) ①)	岡山県立大学、岡山理科大学、岡山商科大学、中国学園大学の4大学、計19名の学生と計5名の教職員が工場見学に参加した。10kgの廃食油を持ち込み、後日製品として1,000個のキャンドルの提供を受けた。
2	エコナイトの実施(写真(2)②③) (実施日: H22.07.07他)	連携校全体で約1,000名がエコ啓発環境教育実践活動に参加し、自家用車による通道の自粛と午後8時に学内の消灯を実施した。連携校9大学が各イベントを実施した。岡山商科大学から2大学にイベントの様子をテレビ会議システムでライブ配信した。
3	エコナイト配布チラシの作成(写真(2)③)、 実施報告書の配布、アンケート調査の実施	チラシは学生・教職員・行政・一般に6,000枚配布した。報告書は、後援団体および連携校に配布した。連携校からアンケート調査を実施し、岡山オルガンホームページに掲載した。
4	地域活性化委員会の開催(計2回) ①H22.05.20(ライブ配信: 4大学) ②H23.02.25(ライブ配信: 4大学)	①②エコナイトの開催、地域活性シンポジウムの開催

17 エコナイトの開催

(2) 地域活性化活動 取り組みの写真



①会社案内とキャンドルの説明を受ける学生



②キャンドルと蛍光ライトでイベントに取り組む学生



③エコナイトチラシ A4判カラー両面



④小講演「考えるエコ」をテレビ会議システムで連携校にライブ配信

17 エコナイトの開催

各大学のエコ活動

連携校のイベント写真

岡山大学 2018.07.07

岡山商科大学 2018.07.07

岡山県立大学 2018.07.07

- エコキャンドル制作講習会の様子
- ポスターセッションの様子
- 七夕フェスティバル(エコナイト実施)に参加した学生
- エコキャンドルと自転車乗降によるLEDの光で表現された笑顔の星の天の川
- ライブ配信後のキャンドル点灯の様子

川崎医療福祉大学 2018.07.07

吉備国際大学 2018.07.08

- 七夕講話：七夕の夜、天の川から地球を眺めた言葉と願いが、その遠隔地の様子を思い、地域貢献の意を込めて制作した七夕の飾りを通して、お互いへの思いのこめられた。
- 早稲刈りによる「ぼんせう」の収穫のあと、みんなで手紙で思いを伝えた。
- 国際連携推進委員長の挨拶が点灯式で始まりました。そこに、様々な飾りが……
- 雨が降りましたが、全てのキャンドルが点灯されて、星の川は美しい情景を醸し出していました。

各大学のエコ活動

<p>倉敷芸術科学大学 2018.07.07</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 園いも栽培に着手、畑に付けた。 2. 開会式 挨拶をしている以上副学長(右)と 挨拶を持っている小松学生委員長(左)。 3. 大学周辺に生えている竹を切り、 炭しソーメンを作った。焼きそばは 4. 学生イベント ワインドアンサンブルの献奏 5. 学生イベント アコースティックギター部の 演奏披露 黒板(なり)園にローソク炎灯 6. 奥庭で作ったローソクが点火 ローンク台は、 学生達が竹を切った。 7. エコに関する課題 生物科学部 山本教授 による課題があった。 	<p>山陽学園大学 2018.07.07</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「キャンドル点灯」(点灯機)に乗って、美術利用のプラスチックカップにキャンドルを入れ、 みんなで点灯しました。 2. 「みんなで製作中……」みんなで「BANVO」 になるようにキャンドルを並べています。 3. 「みんなで記念撮影」(出来上がった横から写真を 撮影して、数葉の笑顔ではい、チーズ！) <p>中国学園大学 2018.07.07</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ロソクと緑色ライトで、星の光で作って、 中国学園のマークと、七夕の文字を作りました。 2. イベントとして、学生が歌を歌ってくれました。 3. 学生たちのアコースティックライブの様子
--	--

各大学のエコ活動

岡山商科大学 2018.07.07

1. 井原地区大学の挨拶
2. NPO法人 岡山県産物センター 代表 倉本 義典氏(右)によるエコ講話(左)。
3. エコ講話(倉本氏)では、本学学生 約50名が参加、そして岡山大学さんと 岡山県産物センターさんとの連携システムの ライブ会場でも参加しました。
4. 星の光で作った「エコ」
5. 星の光で作った「エコ」 (Osu) (Osaka Shika University)
6. 星の光で作った「エコ」
7. 星の光で作った「エコ」

18

— 地域発信力育成のための計画 —

地域活性化シンポジウムの開催

第2回連携評価委員会 <関連番号資料>
— 地域発信力育成のための計画 —

⑱ 地域活性化シンポジウムの開催

■ 取組の内容および実績 / 具体的な成果と今後の課題 (文責：岡山商科大学オフィス)

(1) 主な取り組みの内容
岡山県内の地域との取り組みを基本にして、「地域活性化と大学の役割」をテーマにシンポジウムを開催した。各大学で 取り組まれている地域に関する研究テーマとその概要を発表することにより、各大学・行政機関と情報共有の機会を持ち、 「大学からの地域発信力」を高めることができた。

No	内容
1	<p>[第1部] 取り組み内容の発表 (60分、発表者各10分)</p> <p>発表者</p> <p>(1) 「倉敷地域における学生による地域活性化の取り組み」 藤高邦宏 氏 (倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部 教授)</p> <p>(2) 「玉島地域における食の新商品開発の取り組み」 木戸啓仁 氏 (くらしき作陽大学 食文化学部 教授)</p> <p>(3) 「門田地域の歴史的意味について」 濱田栄夫 氏 (山陽学園大学 総合人間学部 教授)</p> <p>(4) 「岡山という地域を知る」 志野敏夫 氏 (岡山理科大学 総合情報学部 教授)</p> <p>(5) 「新庄村における集落活性化の取り組み」 多田憲一郎 氏 (岡山商科大学 地域再生支援センター長)</p> <p>[第2部] パネルディスカッション (40分) (写真(2)①)</p> <p>コーディネーター 多田憲一郎 氏 (岡山商科大学 地域再生支援センター長)</p> <p>パネリスト</p> <p>(1) 岡 荘一郎 氏 (倉敷商工会議所 副会頭)</p> <p>(2) 片倉 博 氏 (和気町 丸山・南山地区集落機能再編強化委員会 委員長)</p> <p>(3) 守屋 基範 氏 (笠岡市建設産業部 経済観光活性化課 統括)</p>
2	<p>メイン会場の岡山商科大学は62名が参加した。サテライト会場として3大学を設置し、テレビ会議システムでシンポジウムをライブ配信した。</p>
3	<p>シンポジウムの配布チラシと冊子を作成した(写真(2)②)。チラシは、学生・教職員・行政・一般市民に10,000枚配布した。冊子は、サテライト会場の3大学に20部ずつ送付した。</p>
4	<p>シンポジウム参加者からアンケート調査を実施し、シンポジウムの写真を岡山オルガノンホームページに掲載した。</p>

(2) 地域活性化シンポジウム 取り組みの写真



①パネルディスカッションで意見討論



②地域活性化シンポジウムチラシ A4 判カラー両面

[メディア掲載記事]



10月2日付 山陽新聞ウェブニュース



10月3日付 山陽新聞朝刊



10月5日付 おかやま財界

サテライト会場の様子

くらしき作陽大学



山陽学園大学



第2回岡山オルガノン 連携評価委員会

(4) 平成23年度連携取組計画(参考報告)

- 平成23年度事業計画案
- 平成23年度補助金調書
- 年間活動スケジュール

平成23年度事業計画案

(1) 基本方針

- 補助期間の最終年度として事業の完成を目指す
- 教育の共有化の実現を目指す
遠隔教育の受配信の本格化
- 設備備品の導入は必要最小限度に抑える
双方向ライブ型授業のバックアップ関係に限定
- 本事業のスムーズな継承を実現させる
大学コンソーシアム岡山への継承体制の実現

平成23年度事業計画案(P.68～P.70)

(2) 主な事業計画

18項目の事業を展開

- | | |
|--|-----|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 共通計画 ②事業継承のための「将来構想委員会」の開催 ④「岡山オルガノン事業報告会」の開催 ⑥「連携評価委員会」の開催と最終報告書の作成 | 6事業 |
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 学士力育成のための計画 ⑦双方向ライブ型遠隔科目を14科目開講
VOD型遠隔科目を17科目開講 ⑨共同SD研修会「クレーマー対策講座」を開催 ⑩教育改善学生交流会「i*See2011」の開催 | 5事業 |
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 社会人基礎力育成のための計画 ⑭「実践マナー&ビジネスマインド短期集中講座」の開催 ⑮「社会人基礎力養成シンポジウム」の開催 | 4事業 |
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域発信力育成のための計画 ⑯地域密着型の遠隔教育科目の配信 ⑰「大学連携による地域活性化シンポジウム」の開催 ⑱学生主体の環境教育実践活動「エコナイト」の開催 | 3事業 |

平成23年度遠隔教育の開講科目(1)

(1) ライブ型遠隔教育科目

前期配信科目			後期配信科目		
大学名	科目名	担当者	大学名	科目名	担当者
岡山大	大学と社会	和賀崇	岡山県立大	音楽の鑑賞	岡崎順子
岡山商大	経営学特殊講義Ⅰ	大崎紘一	岡山商大	経営学特殊講義Ⅱ	大崎紘一
川崎医大	個人・社会と医療考	大槻剛巳	岡山理大	岡山学	亀田修一
川崎医福大	哲学	安藤正人	環太平洋大	スポーツ栄養学	前村公彦
倉敷芸科大	倉敷まちづくり基礎論	村山公保 他	倉敷芸科大	倉敷まちづくり実践論	小山悦司 他
倉敷芸科大	まちづくりインターンシップ	小田肇 他	山陽学園大	宗教思想	尾崎誠
くらしき作陽大	特別支援教育総論	橋本正巳	中国学園大	現代こども学入門	林修 他

平成23年度遠隔教育の開講科目(2)

(2) VOD型遠隔教育科目

岡山県立大	解析学Ⅰ	小松弘明	前期	岡山商大	パーソナルファイナンス	高林宏一	後期
岡山理大	環境と社会	井上堅太郎	前期	岡山理大	環境と社会	井上堅太郎	後期
岡山理大	インターネット入門	榊原道夫 他	前期	岡山理大	インターネット入門	大西荘一 他	後期
岡山理大	アルゴリズム入門	河野敏行 他	前期	岡山理大	アルゴリズム入門	大西荘一 他	後期
岡山理大	環境考古学	富岡直人	後期	川崎医福大	睡眠学	保野孝弘	後期
吉備国際大	スポーツ産業論	清水正典	後期	くらしき作陽大	音楽療法概論	柿崎次子	前期
くらしき作陽大	食心理学	河村敦	前期	山陽学園大	現代中国論	班偉	後期
就実大	日本人の思想	苅米一志	後期	就実大	日本美術史b	土井通弘	後期
中国学園大	運動生理学	森脇晃義 他	後期				

平成23年度補助金計画(P.71～P.78)

1. 補助金の推移

(千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (調書段階)
総額	83,525	69,646	57,251
設備備品費	56,535	26,511	3,827
旅費	3,540	2,021	2,306
人件費	8,560	22,599	23,454
事業推進費	14,890	18,515	27,664

2. 設備備品

- テレビ会議システム用カメラ 3セット
- ライブ型遠隔授業用表示装置 2台
- ライブ型遠隔授業用ビデオカメラ一式 6セット

年間活動スケジュール(P.68)

■ 共通計画(岡山理科大学)

- ① 4月～ 大学教育連携センターおよび各オフィスの運営
- ② 4月～9月 「将来構想委員会」の開催
- ③ 5月～ 「岡山オルガノン代表者委員会」の開催
- ④ 12月4日 「岡山オルガノン事業報告会」の開催
- ⑤ 1月 平成23年度「大学教育改革プログラム合同フォーラム」へ参加
- ⑥ 1月下旬 「連携評価委員会」の開催、最終報告書の作成

■ 学士力育成のための計画(岡山大学)

- ⑦ 4月～ 単位互換制度を活用した配信科目の追加検討・協議・決定
 - ⑧ 4月～ 新規VOD科目のコンテンツ制作、8月～9月ICT活用教材作成講習会の実施
 - ⑨ 8月29日 共同SD研修会「クレイマー対策講座」を実施
 - ⑩ 9月10・11日 FD研修事業「i*See 2011」の共催
 - ⑪ 11月 「共同FD・SD実施報告会」(遠隔授業による成果報告を含む)の開催
- 社会人基礎力育成のための計画(中国学園大学)
- ⑫ 4月～ 連携校および高校(高大連携)への出張講義の実施<実践的キャリア指導チームの強化充実>
 - ⑬ 6月 学生参画によるキャリア教育担当者意見交換会(ワークショップ)の開催
 - ⑭ 10月 「実践マナー&ビジネスマインド短期集中講座」の実施
 - ⑮ 11月 「社会人基礎力養成シンポジウム」の開催

■ 地域発信力育成のための計画(岡山商科大学)

- ⑯ 4月～ 双方向ライブ型方式による遠隔授業の継続配信
- ⑰ 6月26日 「大学連携による地域活性化シンポジウム」の開催
- ⑱ 7月7日 「エコナイト」の開催